

第四節 昭和十九年

① 職員その他（主に「辞令簿」による。）

昭和十九年

一月二十八日 東山新吉（号魁夷、昭和六年日本画科卒）は本校

事務を嘱託され、文庫課勤務を命ぜられる。

三月七日 大島住之助（昭和七年彫刻科卒）は体操 教練担当講師を嘱託される。

同月三十一日 講師鈴木信一、同松田竹太郎、依願解嘱。

四月七日 前年に引き続き尾上八郎、上村福幸、高階順治、鈴木清、小磯良平、寺内万治郎は講師を嘱託される（各担任科目は

前年度と同じ）。

同月八日 生徒主事補寺田春弑は生徒課勤務を免ぜられ、教務課勤務、生徒課兼務を命ぜられる。

同月十三日 東京帝大卒友田鎮三は師範科および建築科の物理学授業担任講師を嘱託される。

同月二十六日 東京帝大卒松田和三は師範科の工学授業担任講師を嘱託される。

同月三十日 嘱託佐々木孔、依願解嘱となる。

五月二日 陸軍技術本部嘱託関秀光（和田三造門下）は師範科の色彩学授業担任講師を嘱託される。

同月八日 東京府立第一中学校教諭滝沢俊郎（帝大卒）は師範科

の公民科授業担任講師を嘱託される。

同月十八日 講師矢崎好幸、嘱託平塚運一は解嘱となる。

同月二十日 学校長澤田源一、依願免本官となる。文部省専門教育局長永井浩は学校長事務取扱を命ぜられ、工芸技術講習所長に補せられる。

同月二十九日 永井浩は教授結城素明、森井健介、多賀谷健吉、

六角紫水、小林萬吾、朝倉文夫、北村西望、和田三造、津田信

夫の依願免本官と平櫛倬太郎（田中）、小林茂（古徑）、安田新三郎（靱彦）、富本憲吉、安井曾太郎、梅原龍三郎、石井鶴三の教授任命を文部大臣に上申（文部省教学官佐藤得二起案）する。

同月三十日 書記宮本純一は本校事務官に任命される（翌三十一日依願免本官）。

同月三十一日 嘱託東山新吉は病気のため依願解嘱となる。

六月一日 元大阪市立美術館長上野直昭は本校校長に任命され、工芸技術講習所長に補せられる。

同日 結城素明、森井健介、多賀谷健吉、六角紫水、小林万吾、朝倉文夫、北村西望、津田信夫は依願免本官となり、津田信夫は工芸技術講習所教授兼任も免ぜられる。生徒主事兼教授佐々木卓は東京高等師範学校教授に転任する。

同日 平櫛田中、小林古徑、安田靱彦、安井曾太郎、石井鶴三は教授に任命される。

同月五日 富本憲吉は教授に任命される。文部省教学官佐藤得二は本校教授兼任を命ぜられる。

同月十日 片岡照三郎は工芸科漆工部第四学年の彫鏤実習（六月十二日より三十日まで、一回四時間、十回）担任を臨時嘱託される。

同月十三日 事務官北浦大介は依願免本官となり文部属兼教員檢定委員会書記山下民蔵は本校事務官に任命される。

同月十五日 講師松田和三、秦慧玉は依願解嘱となる。

同月十六日 教授兼生徒主事村田良策は教務課長、生徒課長を命ぜられる。

同月十九日 書記浦野双観は工芸技術講習所書記兼任を命ぜられる。

同月二十一日 学校長上野直昭は帝室博物館顧問に任命される。

同月二十二日 助教授羽下修三、深瀬嘉臣、鎌倉芳太郎は依願免本官となる。

同日 田中文雄（青坪）、山本正義（丘人。大正十三年日本画科卒）、菅原安男（昭和三年彫刻科卒）、笹村良紀（草家人。同七年同科卒）は助教授に、奥村義三（土牛）、村田茂男（泥牛）、羽石弘志（光志）は講師に任命される。

同月二十三日 梅原龍三郎は教授に任命される。

同月二十七日 講師遠藤佐市郎、依願解嘱となる。久保守（昭和四年西洋画科卒）、碓伊之助は油画実習授業（週十八時間）担任講師を命ぜられる。

同月二十九日 助教授山田廉、岡四郎は教授に任命（翌三十日依願免本官）される。

同月三十日 教授田辺至、森田亀之助、小泉青堂、高村豊周、川

崎小虎は依願免官となり、工芸技術講習所教授兼本校教授森田武は依願免本官並びに免兼官となる。講師矢沢弦月、矢代幸雄は依願解嘱となる。

同日 助教授内藤春治は教授に任命され、工芸技術講習所助教授兼本校助教授山脇洋二は本校助教授に任命され、小塚新一郎は教授に任命される。

同日 兼子秀賢は本校教務を嘱託され、山田廉は本校教務（教務課並びに日本画教室勤務）を嘱託される。

同日 工芸技術講習所教授兼本校教授山崎寛太郎は文官分限令第十一条第一項により休職を命ぜられる。

七月十日 教授関野聖雲、依願免本官となる。斎藤幸晴は本校教務（教務課勤務）を嘱託される。

同月十四日 教授富本憲吉は工芸技術講習所兼任を命ぜられる。

同月十五日 講師品田慎一は臨時召集を受けて入隊する。村田良策は生徒課長を免ぜられ、小塚新一郎がこれに任命される。書記兼生徒主事補高橋吉雄は依願免本官並びに兼官となる。

同月十八日 助教授伊原宇三郎は依願免本官となる。生徒主事補寺田春弑は助教授兼生徒主事補に任命される。助教授入谷昇は生徒主事補兼助教授に任命される。

同月二十日 講師白川一郎、沼田一雅、小磯良平、高階順治、上村福幸は依願解嘱となる。

同月二十八日 講師新規矩男は陸軍教授に任命される。

同月二十九日 大島住之助は教授に任命され、教練担任を命ぜられる。

同月三十一日 嘱託齋藤幸晴は依願解嘱となる。

八月二日 教授松垣靄雄は依願免本官となる。

同月四日 前田泰次は助教授に任命され、文庫課勤務を命ぜられる。

同月七日 助教授水谷武彦、常岡文亀は教授に任命(翌八日ともに依願免本官)される。山崎三郎は建築科の数学、力学、建築構造計算授業担任講師を嘱託される。

同日 講師原田謹次郎(尾山)歿。

同月十日 日下喜一郎は助教授に任命される。

同月十二日 教授大島住之助は臨時召集を受けて入隊する。

同月二十五日 講師友田鎮三は依願解嘱となる。

同月三十一日 講師碓伊之助、久保守は助教授に任命される。左記は各科(部)理事を命ぜられる。

山本丘人(日本画) 寺田春式(油画) 笹村草家人(彫刻) 小

池岩太郎(図案) 石田英一(鍍金) 日下喜一郎(師範)

九月十二日 教授岡田捷五郎は生徒主事に任命される。

同月三十日 美術研究所員田中喜作は日本美術史担任講師を嘱託され、文庫課長を命ぜられる。

十月四日 生徒主事岡田捷五郎は教授兼任を命ぜられる。

十一月二十日 東京帝大文学部教授児島喜久雄、および吉川逸治は講師(ともに西洋美術史担任)を嘱託される。

同月三十日

嘱託兼子秀賢は本科図学実習授業担任を嘱託される。

② 昭和十九年度入学者

日本画科第一年

昭和十九年四月一日入学

岩瀨 一明 青森

市瀬 幸助 長野

石井 正夫 東京

八藤 富夫 岡山

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

同 同

油画科第一年

同 志賀博信 福島

同 岩橋政敏 福岡

同 橋本貫志 広島

同 大和田治 福井

同 大野 治 東京

同 大倉道昌 岡山

同 加藤 正 宮崎

同 余 喬 富山

同 横山 一 埼玉

同 吉田 宏 北海道

同 田中 盛 福井

同 中川 一 福岡

同 中谷 貞彦 東京

同 山本 一夫 山梨

同 山下 達也 福岡

同 矢吹 惣一 福島

同 丸山 昭 新潟

同 松山 直 大分

同 松樹 人 東京

同 古山 晴男 大阪